

YOASOBI 楽曲に関する考察

池田盛那¹西口純代²小樽商科大学商学部夜間主コース経済学科4年²小樽商科大学言語センター

shishidosena@gmail.com nishiguchi@res.otaru-uc.ac.jp

概要

YOASOBI の特徴をほかの要素と比べて明らかにして、なぜ今有名なのか考察したい。例えばもし自分が曲を作って YouTube に投稿するとして、どんなポイントを押さえれば人気になりやすくなるのかのヒントになる論文というイメージである。

1 研究動機・目的

YOASOBI が有名で新しいことから、研究の余地があるのではないかと考えたから、この研究を行った。YOASOBI が有名になった理由を明らかにして文献として残しておくことで、これからの音楽の発展に貢献することを意図している。いつの時代にも大衆の心を掴む音楽は存在し、その時代の流行や経済に大きな影響をもたらしてきた。それは私たちが生きている現代にももちろん同じことが言え、今まさに大衆の心を掴んでいるアーティストが数多く存在する。そこで、彼らの音楽が持つ力のある観点から分析しその特徴を明らかにすることによって（それぞれの時代の）音楽に対する心の動き、移り変わりを間接的に読み取ることができると考えた。

本研究では楽曲の歌詞という観点に着目しテキストマイニングを用いて分析、比較することで前述の目的の達成を提案する。インターネットの普及、スマートフォンの一般化と続くにつれ、音楽を聴く文化、人数、媒体は時代とともにこう変わってきている。どういった歌詞が好まれるようになってきたのか。

1.1 研究対象

本研究の研究対象となるのは YOASOBI というボーカル幾田りら、作曲 Ayase による「小説を音楽にする」日本の二人組ポップユニットである。2019年11月に投稿された楽曲「夜に駆ける」が YouTube をはじめ Twitter やインスタグラムなどインターネットを中心に話題を集め、国内の音楽配信サービスでチ

ャート一位を多数獲得し第 71 回 NHK 紅白歌合戦にも出場。YouTube 上では総再生回数およそ 2.7 億回再生と驚異的な記録を叩き出している。またその後 TV アニメ「機動戦士ガンダム 水星の魔女」、「推しの子」、「葬送のフリーレン」にそれぞれタイアップ楽曲として「祝福」、「アイドル」、「勇者」を提供しており、いずれの楽曲もアニメと合わせて人々のトレンドに大きな影響を与えているユニットである。

楽曲の特徴としては王道的なコード進行の上にエレクトロダンスミュージック調の楽器を乗せ、キャッチーなメロディで元となる小説の物語をなぞるような印象的な歌詞を歌うというものになっている。

1.2 先行研究の検討

日本の楽曲の歌詞については時代や内容の傾向など、多岐に渡って研究されてきた。黒木は日本のロックバンドである RADWIMPS の歌詞について研究し、その歌詞が持つ魅力を明らかにした。豊田は日本のアーティストの歌詞をジャンルや会話の有無、性別、一人称などのテーマに分けて研究し、楽曲の歌詞がその時々を社会を映し出す鏡であると考察した。

1.3 研究方法

歌詞の特徴を明らかにするために、まず YOASOBI の歌詞を KH コーダーによって単語ごとに分割し、単語の用いられ方やその前後関係、曲ごとの出現頻度、全体的な単語の偏りなどを調べる。KH コーダーとは計量テキスト分析及びテキストマイニングを行うことができるフリーソフトウェアであり、入力したデータから語を集計、解析しコーディングルールを設けることで様々な軸からデータを分析するためのソフトウェアである。続いて、任意の軸（昔の若者に人気、今の大人に人気、今の似たアーティスト、など）に基づいて設定した他アーティストの歌詞にも同様の操作を行い、操作結果を YOASOBI と比較する。どのようにそれぞれの歌詞

に特徴があるか、背景や事件、世論、ネット文化、などからも考察する。

どのようにそれぞれの歌詞に特徴があるか、背景や事件、世論、ネット文化、などからも考察する。

1.3 分析の狙いと予想される結論

本研究における最大の狙いは人の心が響く理由を歌詞分析という観点から明らかにすることである。

予想される結論の一つとしてはインターネットの普及が考えられる。YouTube を日常的に視聴する人が増加したことに伴ってインパクトのある歌詞や世界観を生む歌詞を用いていることが人々の心を掴む要素となったのではないだろうか。また、アニメーションの大衆化によるタイアップ曲の増加も影響しているのではないかと考える。アニメーションが広く娯楽として受け入れられるようになったことに伴い、オープニング曲やエンディング曲の制作を依頼されるアーティストが増えた。その結果アニメの内容にマッチした歌詞が生まれ双方のファンに支持されているのではないだろうか。

2 本論

3.1 YOASOBI 楽曲の分析

3.1.1 テキストマイニングによる歌詞分析

本項では KH コーダーを用いた歌詞の分析を行う。以下の表は YOASOBI 楽曲の歌詞における特定の語の出現頻度を品詞別で順に表示している。

名詞	サ変名詞	形容動詞	
世界	38 記憶	9 好き	18
言葉	28 旅	5 確か	6
想い	19 話	5 幸せ	6
未来	19 告白	3 特別	6
自分	10 目印	3 大好き	5

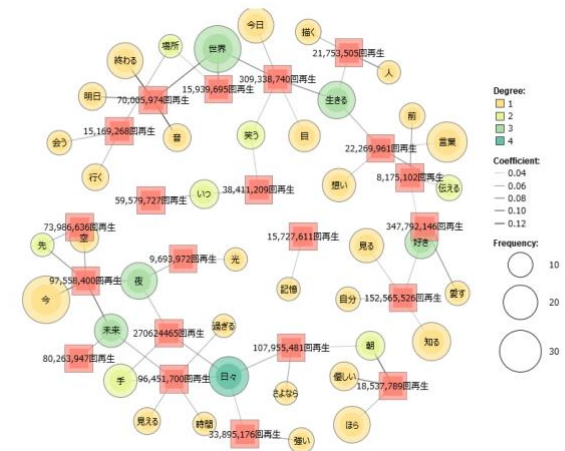
副詞	感動詞	動詞	形容詞	副詞	副詞
可能					
今	39 ほら	23 知る	25 優しい	14 少し	11
日々	27 さよなら	9 生きる	24 強い	11 もう少し	8
夜	23 ねえ	6 終わる	22 無い	10 本当に	8
今日	22 ありがとう	4 見る	20 辛い	5 もう一度	7
いつ	14 さあ	3 笑う	13 青い	5 共に	6

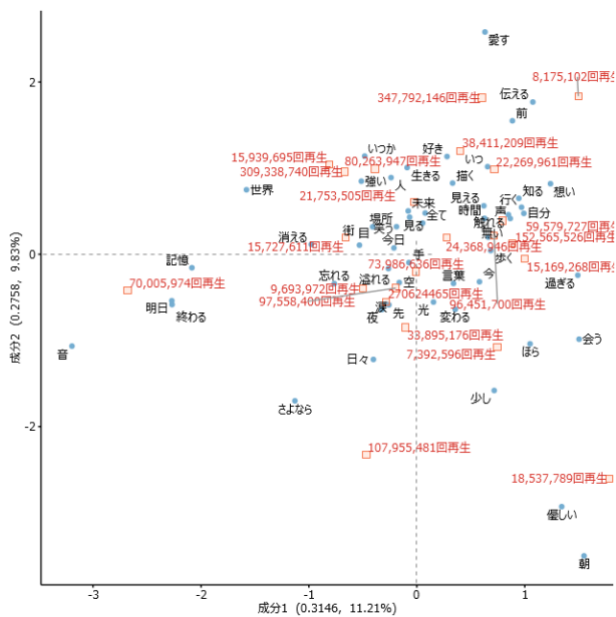
特に YOASOBI の歌詞においては「二人今夜に駆けだして行く」、「ほら最後の花火が今二人を包む」、といった今この瞬間、そのシーンを強調するようなかつ情景を描くような用いられ方が多かった。また、楽曲の聴者に語りかけるような表現も見受けられ、より楽曲への没入感を与えていると考えられる。この点は他のアーティストとも比較したい。

次に、上の表から、ある単語の前後の文脈を分析する WIC コンコーダンスに基づき上位三位までの語の前後にどのような語が表れているか分析した。

「今」の場合では「会う」、「ない」、「行く」、の三つの単語が多く用いられていた。「世界」の場合は「終わる」、「今日」、「明日」、なんだか暗みを感じる。「言葉」の場合は「ない」、「零れる」、「声」、「届く」という単語が多く隣接して、用いられていた。

現段階での分析をもとにすると、「今」という単語を頻繁に用いて世界の終わりや言葉による対話、あるいは人物、それを取り巻く情景を強調しているという表現特性があると考えられる。





3.1.2 楽曲の分析

転調が多い。

3.2 他アーティストとの比較

3.2.1 YOASOBI と似た性質を持つ現代の

アーティストとの比較

現代においてYOASOBI と似た性質を持つアーティストとの比較を行う。本項では性質の似たアーティストとしてヨルシカを取り上げ比較していく予定である。